

日本史特殊講義4B- I

科目ナンバリング JPH-207
選択必修 2単位

山本 英貴

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、江戸時代における幕府と藩(大名)との関係およびその変遷についての講義である。取り上げる内容は、①近世大名の家格上昇運動を事例とする幕府と藩との交渉、②幕府の政務処理に関与した奥右筆と、幕藩間あるいは大名間の交渉を担った留守居と留守居組合、③幕府の政務処理の基本方針である先例主義と、それを可能にするために整備した公文書の管理制度、となる。

2. 授業の到達目標

江戸幕府の官僚機構、幕府と藩(大名)との関係およびその変遷について理解する。

3. 成績評価の方法および基準

中間・期末の両テスト

4. 教科書・参考文献

参考文献

野口朋隆 『江戸大名の本家と分家』(2011年) 吉川弘文館

荒木裕行 『近世中後期の藩と幕府』(2017年) 東京大学出版会

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 本授業の説明
- 【第2回】 近世大名の類型
- 【第3回】 近世大名の本家と分家
- 【第4回】 近世大名の序列編成と儀礼社会
- 【第5回】 近世大名の家格上昇運動-武家官位・行列道具
- 【第6回】 近世大名と御用頼
- 【第7回】 江戸幕府による御用頼の取締
- 【第8回】 中間テストとまとめ
- 【第9回】 江戸幕府の政務処理
- 【第10回】 老中制の形成過程
- 【第11回】 江戸幕府の奥右筆
- 【第12回】 江戸幕府の公文書管理
- 【第13回】 大名家留守居と留守居組合
- 【第14回】 江戸幕府による留守居組合の取締
- 【第15回】 期末テストとまとめ